



テーマ名：アフターコロナ時代の感染ハザードマップのための高速人物位置同定AIマイコンを用いた非接触多人数対応AI検温カメラの開発

助成事業者：パワースピン株式会社

共同研究・委託先：国立大学法人 東北大学

開発フェーズ
実用化2年

重要技術：省エネ型広域網・端末 及び 快適性・生産性等と省エネを同時に実現にする新たなシステム・評価技術

開発期間における助成金額
1億円～3億円

対象技術の背景

アフターコロナ社会において感染症に強い街づくりを実現するためには、感染リスクを検知する製品が不可欠であり、多人数を高速に非接触での検温を可能にするという課題を解決するのは喫緊の課題である。

テーマの目的・概要

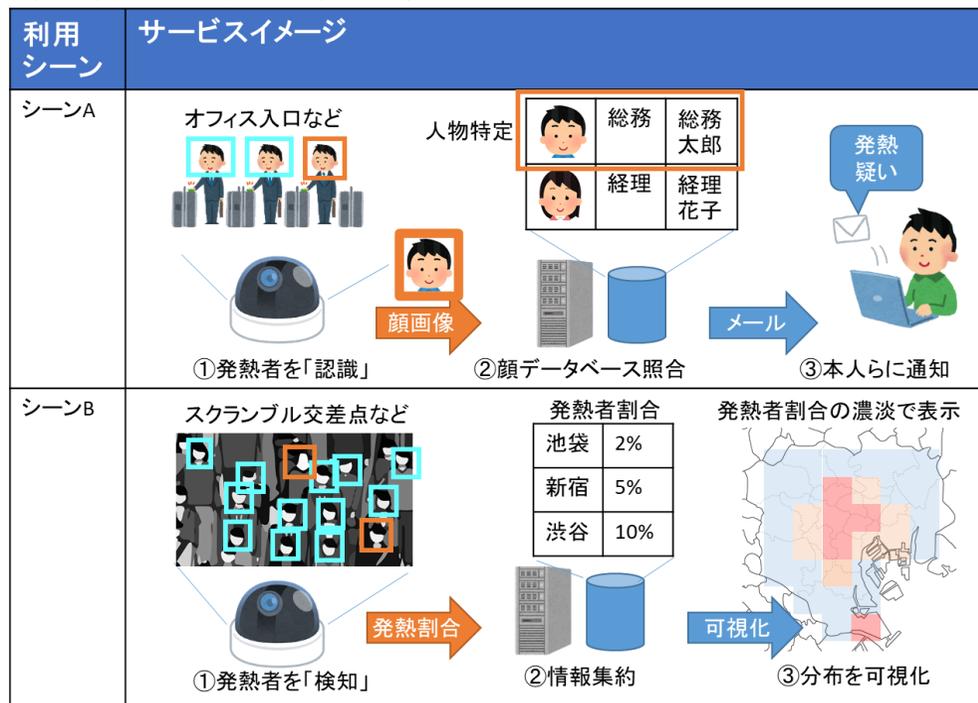
保有する物体検知AIマイコン技術を用いて、超低消費電力で多人数の位置を検知し検温できる「非接触多人数対応検温カメラ」を開発することを目的とする。

省エネ効果量 (原油換算) (国内)	製品化から3年後	2030年
	2.5万kL	11.8万kL

見込まれる成果の説明

開発品を市場導入することによって、従来製品と比べ80%の省エネ効果が見込まれる。コロナ禍後の社会で感染症に強い街づくりを支える効果が見込まれる。

開発検温カメラによる感染症対策サービスイメージ



省エネルギー技術開発のポイント

本開発は、物体検知AIマイコンを活用してアフターコロナ時代に求められる検温カメラの低消費電力化・多機能化を目指すものである。